

## 2024年5月30日本子ども宣教局学院福音化6月1課

6月第1課は、レムナントが成し遂げたエリコ作戦です。

### ヨシュア6章8~10節

- 08 ヨシュアが民にそう言ったとき、七人の祭司たちは、七つの雄羊の角笛を持って主の前を進み、角笛を吹き鳴らした。主の契約の箱はそのうしろを進み、  
09 武装した者たちは、角笛を吹き鳴らす祭司たちの前を行き、しんがりは角笛を吹き鳴らしながら箱のうしろを進んだ。  
10 ヨシュアは民に命じた。「あなたがたはときの声をあげてはならない。声を聞かせてはならない。口からことばを出してはならない。『ときの声をあげよ』と私が言うその日に、ときの声をあげよ。」

6月は5週間あって、学院福音化のメッセージの内容は非常に多いです。

3週間はヨシュア記からのみことばです。4週目は士師記。最後の5週目はサムエル記第一です。

学院福音化のテキストに出ていている聖書箇所だけを見るのではなく、全体の内容を聖書で直接読んでみてください。そして、注意することは、聖書を読むときは、人物中心の歴史の本のように読まないでください。イエス・キリスト中心の救いの歴史を中心にして読んで黙想してください。

結局、聖書は一つだけを話すのです。そては、イエスを通した救いです。私たちの人間は、ただ土で、ちりであり、Nothing、絶対不可能な存在であることを知るべきです。そのような不可能な人間を、神様が神の民としてくださるために、キリストを通してすべての恵みをみな一度に注いでくださいました。そのようにして神の民としてくださったことを話しているのが聖書です。そして、キリストをかしらとする教会として私たちを立て上げて行ってくださいます。私たちがすることは何もありません。

今日は、エリコの征服についての内容です。

カナンという約束の地は、すでにアブラハムのときから神様が約束してくださった所です。そのカナン征服において、いろいろな種族と戦争もすることを、あらかじめ話をされました。そのカナン征服の初めての征服戦争が、エリコでした。乳と蜜の流れる、敵のいない地をそのまま与えてくださった良かったのに、なぜ七つの部族と、31の王と戦うようにされたのでしょうか。その理由は何でしょうか。不可能であるイスラエルを可能に変えようとすることでは、絶対に違います。私たちにある程度の影響力を備えさせて「そのとき、わたしが何かをする」と待っておられるのではないということです。あいかわらず不可能なイスラエルですが、絶対可能な神様が働くかれるということを、分からせようとすることが目的なのです。「わたしが神であり、あなたは被造物だ」ということを教えられるということでしょう。そのまま私たちは、すべて成されて行くことの中で、私がしたことは何もないと告白すれば良いということです。私には、すぐれていることは絶対にないのだということを分かれば良いのです。

そのカナンの征服、そしてエリコの征服について、モーセに最初に与えられみことばは、何だったかを先に見てみましょう。

しんめいき しょう せつ  
申命記9章1節から3節です。

- 01 聞け、イスラエルよ。あなたは今日、ヨルダン川を渡って、あなたよりも大きくて強い国々を占領しようとしている。その町々は大きく、城壁は天に高くそびえている。
- 02 あなたがよく知っているアナク人は、大きくて背が高い民である。あなたは「だれがアナク人に立ち向かえるだろうか」と言われるのを聞いたことがある。
- 03 今日、知りなさい。あなたの神、主ご自身が、焼き尽くす火としてあなたの前を進み、彼らを根絶やしにされる。主があなたの前で彼らを征服される。あなたは主が約束されたように、彼らをただちに追い払って滅ぼすのだ。

ねんまえ  
すでに40年前に、カデシュ・バルネアに留まったときに、モーセを通して約束された内容です。ここで重要なことは、3節にあります。「主ご自身が、焼き尽くす火としてあなたの前を進み」ということです。神様が先に進んでおられるので、あなたがたは後について行けば良いということでした。それにもかかわらず、不信仰になって40年間の荒野生活をしたのでした。いま40年が過ぎた後、申命記で神様のみことばの命令をイスラエルに伝達している場面です。「申命記」という言葉の意味が再び伝えるという意味です。

じゅうよう  
ここで、また重要なのは、このように約束をしてくださり、神様が先立って行われると言われたでしょう。そして、神様がすると言われたのですが、その後の4節から見てみましょう。

- 04 あなたの神、主があなたの前から彼らを追い出されたとき、あなたは心の中で、「私が正しいから、主が私をこの地に導き入れ、所有させてくださったのだ」と言ってはならない。これらの国々の邪悪さのゆえに、主はあなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。
- 05 あなたが彼らの地を所有することができるは、あなたが正しいからではなく、またあなたの心が真っ直ぐだからでもない。これらの国々の邪悪さのゆえに、あなたの神、主があなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。また主があなたの父祖、アブラハム、イサク、ヤコブになさった誓いを果たすためである。
- 06 知りなさい。あなたの神、主は、あなたの正しさゆえに、この良い地をあなたに与えて所有させてくださいのではない。事実、あなたはうなじを固くする民なのだ。
- 07 あなたは荒野であなたの神、主をどれほど怒らせたかを忘れずに覚えていなさい。エジプトの地を出た日からこの場所に来るまで、あなたがたは主に逆らい続けてきた。

4節では、あなたたちが自らした、あなたたちが正しいからと言ってはならないと言われています。神様がすべてされるのですが、それにもかかわらず、「あ、これは私がしたことで、私が正しいからそのようなことができた」と言ってはならないと、今この短い聖書箇箇の中で3回も繰り返して語っておられます。エリコをはじめ、7部族31人の王たちは、彼らの邪悪さ、罪ゆえに滅びただけだということです。

6節でも、イスラエルは何だとされていますか。「あなたはうなじを固くする民なのだ」と言われているでしょう。7節でも言われます。「エジプトの地を出た日からこの場所に来るまで、あなたがたは主に逆らい続けてきた。」神様がイスラエルに願われることは何一つありません。イスラエルと関係なく、神様は神様の働きをしておられたのです。

このように約束されたカナンの地を占領する最初の町であるエリコを征服する内容は、ヨシュア記6章の今日読んだ本文もそうですが、皆さんのがヨシュア6章をくわしく読んでください。

簡単に話せば、六日間は一日に一回ずつを回りなさい。エリコの町は、とても大きい町であり、とても強い町でした。その城壁の上の道が、広いところは2.7mくらいだったと言われています。城壁の上の道に馬車が通えるくらいの幅があったということです。人間の力では崩せない城壁でした。そして、最後の七回目は、七回回りなさいと言われました。全部で13回回ったのです。今日読んだ箇所に、「口からことばを出してはならない」と言われています。

私も考えてみました。最初の日、一回りは、「しなさいと言われたからやろうか」と回ったと思います。しかし、三日、四日、五日過ぎれば、「これを回って本当に崩れるのかな」と、たぶん疑いを持ったでしょう。小さい町ではなく、最後の日、七回を回ったときには、みんな怒りが出て来ていたのではないかでしょうか。皆さんだったらどうでしょうか。口を閉じて、「崩れる崩れるか、信じます」と思いながら見たでしょうか。私だったら、そうではないと思います。イスラエルの民も、ほとんどの疑っていたのではないかと思います。

マタイ5章に、イエス様が「情欲を抱いて女を見る者はだれても、心の中すでに姦淫を犯したのです」と言われています。ですから、心の底から不平不満、恨みを持ったことは、すでに神様に対して不順従だったということでしょう。

最後に七回、回ったとき、祭司が角笛を吹き鳴らし、その音を聞いたらいスラエルは大声でときの声をあげなさいと言われました。その角笛の音を聞いたその瞬間でも、疑っていたかもしれません。角笛の音と大声でときの声をあげたときに、本当に崩れました。たぶん、「わー！」と言しながら驚いたでしょう。「本当に崩れたよ！」と。そのようにして、エリコを征服しました。

そのとき、エリコの町を征服した後に、その中に遊女ラハブとその家族以外は、すべて老若男女を問わず殺せと言われました。そしてその中の銀や金、青銅や鉄の器は、主にすべてささげるようにしなさいと言われました。その内容は6章17から18節にあります。

17 この町とその中にあるすべてのものは主のために聖絶せよ。遊女ラハブと、その家にともにいる者たちだけは、みな生かしておけ。彼女は私たちが送った使いたちをかくまってくれたからだ。

18 あなたがたは聖絶の物には手を出さない。あなたがた自身が聖絶されないようにするために、すなわち、聖絶の物の一部を取ってイスラエルの宿営を聖絶の物とし、これにわざわいをもたらさないようにするためである。

とても厳しい命令でした。

ところで結局、7章1節を見ると、アカンという人物が出てくるのですが、彼が聖絶の物の一部を隠しました。

01 しかし、イスラエルの子らは聖絶の物のことで主の信頼を裏切った。ユダ部族のゼラフの子ザブディの子であるカルミの子アカンが、聖絶の物の一部を取った。それで、主の怒りがイスラエルの子らに向かって燃え上がった。

皆さんごこの箇所で注目すべき部分があります。たしかにアカンというひとりの人物が罪を犯しました。ところが、1節には、イスラエル全体が罪を犯したことで、それでイスラエル全体に主の怒りが燃え上がったと表現されています。

7章11から12節も同じ内容です。

11 イスラエルは罪ある者となった。彼らはわたしが命じたわたしの契約を破った。聖絶の物の一部を取り、ぬすあざむ盗み、欺いて、それを自分のものの中に入れることまでした。

12 だから、イスラエルの子らは敵の前に立つことができず、敵の前に背を見せたのだ。彼らが聖絶の者となつたからである。あなたがたの中から、その聖絶の物を滅ぼし尽くしてしまわないなら、わたしはもはやあなたがたとともににはいない。

アカンの犯罪、ひとりの犯罪だったのですが、イスラエル全体が罪人になってしまい、それゆえ、そのアカンを探し出して罰を与えなければ、イスラエル全体が罰を受けることになると言われています。

ここで、皆さんが思い浮かぶことはありますか。アダムひとりが罪を犯したゆえに、全人類が罪人になったように、アカンひとりのために、イスラエル全体が罪人になってしまったのです。

ローマ5章19節「すなわち、ちょうど一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、一人の従順によって多くの人が義人とされるのです。」

ひとりの従順によって、多くの人が義人となったと書いてあります。このアカンの内容は、さらに深い意味があるのですが、結局、イエス・キリストの模型の人物でもあるということです。(もっと知りたい方は、後ほど広島に訪ねて来てください。アカンが石に打たれて死んだ、そこはアコルの谷だと言われています。そこは、イエス様が亡くなった場所です。)

このアカンの事件によって、その次に征服する町であったアイの町は、比較的小さな町で、民の人数も少ない所だったのですが、そのアイの町の征服で、完全に負けてしまいました。イスラエル全体が行かず、3千人を選んで送ったのですが、完全に負けて追い出されてしまうようになります。そのアイに負けた事件によって、ヨシュアも神様の前にこのような不平不満を言います。ヨシュア7章7節のみことばです。

07 ヨシュアは言った。「ああ、神、主よ。あなたはどうして、この民にヨルダン川をあえて渡らせ、私たちをアモリ人の手に渡して滅ぼそうとされるのですか。私たちは、ヨルダンの川向こうに居残ることで満足していたのです。

それは、まるで紅海の前のイスラエルの民が恨んで言ったことと同じでないでしょうか。ヨシュアも一時にイエスの模型となったモーセに代わった指導者として用いられたのですが、結局は、ヨシュアも同じイスラエルであり、また、罪人であったのです。

私が言いたいのは、レムナントが成し遂げたことは、何もないということです。神様が用いられて、一時にその神様のみこころが成就される所に用いられただけだということです。聖書全体がその話です。

ですから、このエリコの征服の内容の結論は、神様の恵みによってなされたということです。イスラエルをはじめとして、すべての人間は、自ら神様に従順にすることはできない者です。ですから、神様が先に進まれて、後に従つてくるだけすれば良いと命令されるのです。

黙示録19章を見ると、完全な勝利を語られています。すべての女性が待っている白馬に乗った王子が出て来ます。それは、イエス様です。ところで、そのイエス様が直接すべての戦いを戦って、その服は血で染まつていました。その後に従う神様の軍隊、つまり、私たちですが、同じように白馬に乗って亜麻布の服を着ているのですが、彼らが着ている服は真っ白いままです。汚れていないのです。イエス様が直接、ご自分の血を流しながらみな戦って勝って勝利して、ただ私たちはきれいな服そのまま私たちが手を使うこともなく、力を使うこともなく、その後を追いかけて行けば良いということです。

最後に読む聖書箇所は、このエリコの征服についてのヘブル人への手紙の記者の告白です。

ヘブル11章30節  
信仰によって、人々が七日間エリコの周囲を回ると、その城壁は崩れ落ちました。

ここで、イスラエルの民が自分たちの信仰を持って回ったという内容ではありません。ヘブル11章に出てくる信仰は、所有格（～の信仰）ではなく主格（信仰が）でみな書かれています。それは、信仰というその主体によって、人々がこのようになったという意味です。その信仰はだれの信仰でしょうか。イエス・キリストの信仰です。

それゆえ、ヘブル12章2節に、このように記録されています。

02 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

私たちが作り出す信仰、または、私が私のことで持つことができる信仰はありません。イエス・キリストの、その信仰が私たちに入ってきて、私たちの導いてくださるだけなのです。神様の恵みによってなされたエリコの作戦でした。

以上です。